

学校運営協議会 議事録

校名	府立だいせん聴覚高等支援学校
校長名	塩谷 謙二

開催日時	令和2年 5月15日(金) 送付
開催場所	書面開催
出席者(委員)	村川治彦 委員、澁谷栄作 委員、余部信也 委員、野中和夫 委員 都築康治 委員、杉本美徳 委員
出席者(学校)	校長、教頭、首席2名、部主事、キャリア教育部主任、教務部主任 生活指導部主任、事務長
傍聴者	なし
協議資料	令和2年度 学校経営計画 他
備考	

議題等(次第順)	
1 学校運営協議会委員紹介【事務局】	2 学校運営協議会要項、会長・副会長選出【事務局】
3 令和2年度 学校経営計画について【校長】	4 進路状況について【進路指導部】
5 生活指導について【生活指導部】	6 保護者からの意見書について【事務局】
	7 その他【事務局】
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
2 学校運営協議会の趣旨説明、会長選出【事務局】	
・村川委員を会長に推薦、都築委員を副会長に指名。書面により承認を確認。	
3 令和2年度 学校経営計画について【校長】	
『「知・徳・体」バランスのとれた教育の推進」についての主な意見	
・「互いを思いやり、相手の立場を尊重する生徒の育成」について、聴覚障がい者で、アンガーマネジメントを取り入れた取組を検討する必要がある。	
・「各生徒の健康の増進に努め、体力の一層の向上を図る」について、新型コロナウイルスの影響を考慮して、生徒へのきめ細やかなメンタルケアをする必要がある。	
・「各生徒の健康の増進に努め、体力の一層の向上を図る」について、第2波に備えて対策マニュアルを作成する必要がある。	
・「キャリア教育の充実・発信」について、新型コロナウイルス感染拡大により、進路関係については、生徒・保護者の不安が増している。澁谷委員、余部委員から意見をもらうなど、より一層の充実と情報提供をする必要がある。	
『地域とつながる教育の推進』についての主な意見	
・大仙校区自治会などとの連携を図り、防災活動や清掃などを通して、生徒たちが地域コミュニティと交流する機会を増やす必要がある。	
『授業力及び指導力育成の一層の充実』についての主な意見	
・SC、SSW、臨床心理士等については、関西大学の社会福祉、臨床心理の専門家との連携の橋渡しをできるので、検討を希望する。	
・新型コロナウイルスの感染拡大による学習の遅れを極小化する取組みをする必要がある。	
・新型コロナウイルスの感染拡大による学習の遅れを取り戻すため、夏休み短縮等の対策を講じる必要がある。	
5 生活指導について【生活指導部主任】	
主な意見	
・新型コロナウイルス感染拡大により、インターネットやSNSによるトラブルが増加している。これについての情報モラル講習を行う必要がある。	
・新型コロナウイルスの状況が改善すれば、関西大学の学生への手話講座や交流も、ぜひ行っていきたい。	
・「情報モラル講習会」について、重要視しているので、ぜひ実施してほしい。スマートフォン活用により、悪影響を及ぼす情報を収集してしまうこともあるので、指導項目に追加する必要がある。	
6 保護者からの意見書について【事務局】	
意見書の提出はなし	

次回の会議日程	
日時	令和2年 11月 5日(木) 10:00~
会場	大阪府立だいせん聴覚高等支援学校 校長室